

研修名	令和4年度 新任者のための精神保健福祉基礎研修 I
講師	保健福祉局精神保健・地域移行推進課、北九州市立精神保健福祉センター 相談支援事業所あさの 所長 黒木 由貴子 氏 ピアサポーター（精神障害のある当事者2名） 小倉記念病院 緩和ケア・精神科部長 三木 浩司 氏
開催日時	令和4年5月27日（金）9：00 ～ 17：00
開催方法	オンライン研修（Webex Meetings 使用）
申込者数	33名（内訳：行政機関、医療機関、障害者支援機関等の職員）
内容等	精神保健福祉業務に関わる行政機関及び関係機関の新任者を対象に、精神障害者についての見識を深め、関係機関との連携や現場での適切な業務が出来る事を目的として開催した。①本市の精神保健福祉施策の概要 ②精神保健福祉センターの概要 ③自殺予防ゲートキーパー研修 ④精神障害者の理解と対応～当事者からのメッセージ～ ⑤精神疾患について（症状と治療など）をテーマに研修を行った。 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン開催となった。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> • 精神保健福祉行政の歴史や法体系等がよく分かりましたので、より適切な支援ができると思います。社会資源もよく分かりました。活用します。 • 精神保健福祉センターの業務がしっかり理解できました。たくさんの事業が分かりました。 • 悩んでいる人への接し方で TALK の原則を知ることができ、今後関わる中で大変役に立つと感じました。 • ピアサポーターの重要性がよく分かりました。2人の事例が、本当にためになりました。がんばって話していただいたので、より良い支援に繋げなければいけないと強く思いました。 • さまざまな精神疾患が理解できました。現場の先生から、具体的な事例も教えてもらいながらの授業でしたので、よく分かりました。 • 実際の支援の現場で使える言葉などもあり、大変勉強になりました。対応に苦慮していた相談者の解決の糸口がつかめそうです。